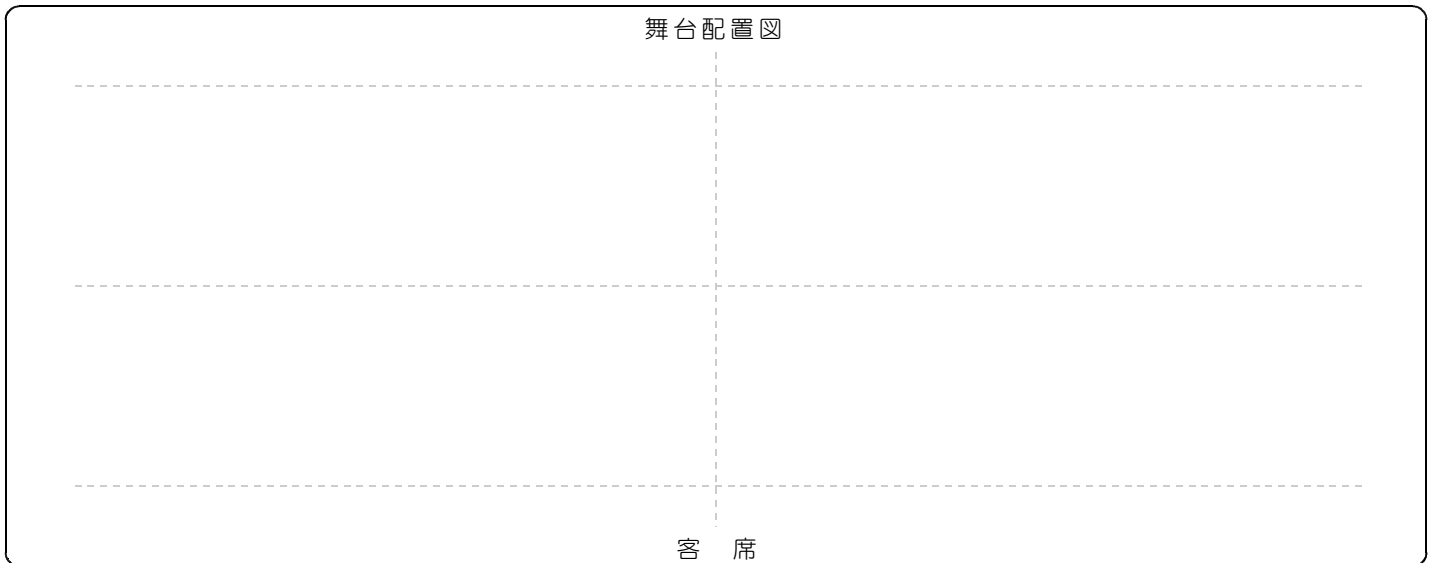


No.	讃 歌	演奏者数	演奏時間
-----	------------	------	------



表示記号一覧	一 箏	= 17絃	+ 三絃	0 尺八	≠ 他楽器	* マイク	□ エコー	□ 毛氈	W 屏風
立 奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハイター 枚
座 奏	琴台	台	見台	台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他	
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

調絃表	ピッチ A=44		編成：箏											
Part	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	斗	為	巾	
箏						F								
	D	G	A#	C	D	D#	G	A#	C	D°	D#	G	D	一は五の乙 (D)
	平調子より四九一音↑ 三八半音↑ 巾は十の甲													

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

作曲年 1978年 委嘱者 一 構成 箏独奏 時間 10分 出版楽譜 ミュージックエス

解説 曲全体は、休みなく演奏されるが、中間に緩徐な部分をはさんで、大きくは三つに分けられる。第一の部分は比較的叙情的に讃歌が歌われ、第二の部分は自由なリズムのなかで、そして第三の部分はこまかい音型が次々に現れる中で独特の音の世界をくり広げている。讃歌は、自然の美、人間の愛、そして芸術の深さに触れた時におこり、人の内に昇華され、外に向って溢れて、やがてそこに夢と詩が生まれる。1978年作曲。 [作曲者]

収録媒体 沢井忠夫作品集1 讃歌 (MISH-0011) 沢井忠夫自作自演集1 讃歌 (KYCH-2010) 沢井忠夫アンソロジー 一凛 沢井忠夫作品集1 (MISH-0003) 日本の音2 箏 (COCF-9382) 沢井忠夫 super sound CD vol.1 (DA-2060)